

課題番号	応募者名	事業名	評価者の主なコメント	評価者のコメントに対する回答
J1806	株式会社 不動テトラ	焼却灰の 焼成による再資源 化と最終処分場プレ ミックス埋立技術の 開発	非常に興味ある技術コンセプトと評価したい。しかし、今後、保有水、アンモニア、透水係数がどうあるべきか、総合的検討が必要である。	コメントのとおり、今後総合的検討が必要な課題であると考えております。
			浸出水のBOD, CODが高い点をどのように解決するかが今後の課題と思われる。有害化学物質の挙動についての結果が不明である。	試料の溶出試験を実施したものであり、時間が経過してもBOD,CODが高いままであることは、汚濁物質が試料中に残留していることを示唆しており、当初の狙い通りの結果となったと考えております。
			予備的検討が十分なされているとは言い難い。浸出液処理の長期化が予想される。これを経済性評価に含めるべきである。	浸出液処理長期化のおそれがありますが、処理量は大幅に減少するものと考えており、これを経済性評価に含めても有利な方向になるものと考えております。
			焼成条件、混合条件などに関し、不明の点が多い。	焼成条件、混合条件などについては、報告書記載のとおりです。
			目標に対する達成の度合いが評価しにくい。安定化剤の製造が安価に容易にできないと狙いの現実性が低くなる。	安定化剤の製造コストは個別の条件により異なりますが、要求性能が低いので、他の条件が同一であればエコセメントよりは安価に製造可能である、と考えております。
			対象の破碎不燃物並びに焼却灰中の残留有害物質が無視される程度であれば効果大と考えられる。	一般廃棄物最終処分場内での利用を前提としているものであり、受入れが困難な残留有害物質を含む廃棄物の処理は考慮しておりません。